



お台場学園だより



平成29年10月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091 港区台場 1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

「学校・家庭・地域との協働」

副校長 小牧英男

10月2日(月)は、港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小・中学校の21回目の開校記念日です。当日は、生徒会と代表委員会が中心になり開校記念集会を行い、学校に関するクイズを出題して全校で開校のお祝いをしました。

9月に行いました学校公開では、たくさんの保護者・地域の皆様にご参観いただきありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただき、たくさんのご意見をお寄せいただきました。これからの教育活動に活かしていきます。

学校公開日の9月16日(土)には、道徳授業地区公開講座を実施し、学園全クラスで道徳授業の公開を行いました。

道徳は、学習指導要領の改正にともない小学校は平成30年度、中学校は平成31年度より「特別の教科 道徳」となります。今回の改正の背景について、文部科学省の資料の中で、いじめに関する痛ましい問題が多発していること、コミュニケーションや人間関係に関する変化は個々の家庭における「しつけ」だけの問題でなくなっていることなどが示されています。

お台場学園は、今年度「特別の教科 道徳」の指導について、校内で研究しています。授業ではその取り組みをご参観いただけたことと思います。

公開授業の後の協議会では、東京都教育庁義務教育指導課吉川泰弘統括指導主事から、「大人はどうすればよいのか?」についてご講演いただきました。

講演の中で、東京都が取り組んでいる「こころの東京革命」についてのお話がありました。

「こころの東京革命」とは、親と大人が責任を持ち、次世代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人が生きていく上で当然の心得を伝えていこうという取り組みです。

「こころの東京革命」では、大人は、未来を支えていく子供に、どのような社会にあっても守るべき基本的ルールがあること、そして、社会の一員として役割と責任を果たしていくべきことを自らの行動を通して伝えていかなければならないとして、そのためには「求められるのは大人の自覚と率先」が大切であるとしています。

東京都が小学生の保護者向けに作成したパンフレットには「こころの東京革命」の取り組みの方向として5つの標語を示しています。

「こころの東京ルール」

～大人が子供の手本になろう～

- 一、毎日きちんと挨拶させよう
- 一、善いことは褒め、悪いことは叱ろう
- 一、ねだる子供にがまんをさせよう
- 一、先人や目上の人を敬う心を育てよう
- 一、体験の中で子供を鍛えよう

また、パンフレットには、取り組みの具体的な行動として「学校での取組」「地域への期待・社会全体での取組」に加え「家庭への期待」も示されています。

今回の道徳授業地区公開講座を通して、学校・家庭・地域が同じ視点に立つこと、大人が見本を示していくこと、積極的に子供たちとかかわっていくことの大切さを改めて感じました。これからも家庭や地域の皆様と連携を図り、協働体制で子供たちの教育に取り組んでまいりたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

10月の生活目標 「安全な生活について考えよう」

中学校生活指導主任 斎藤 孝太

お台場にも涼しい風が吹く季節となりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、体調が優れないときは早めに寝るなどして、体調管理に努めていただければと思います。さて、今月の目標は「安全な生活について考えよう」です。東日本大震災から6年が経ちました。震災後に「自分たちの町は自分たちで守る」をスローガンに本校の中学生で結成されたお台場防災 Jr. ティームの活動も6年目を迎え、万が一の災害に備えて、炊き出しや消火、搬送、救護などの訓練を行っています。

今年10月14日(土)に本校にて港区総合防災訓練が行われますので、保護者の方々もぜひ本校生徒の活躍をご覧になっていただければと思います。



高学年として・・

5年生は、夏休みの8月20日（日）、21日（月）、22日（火）に、初めての宿泊行事となる「夏季学園」へ行ってきました。箱根のニコニコ学園で過ごした3日間のめあては自主的な行動でした。しおりを見ながら5分前行動を心がけ、自分たちで行動する子供たちに大きな成長を感じました。同じ班や係の友達どうしで声をかけ合い、みんなのために進んで行動する姿から、集団生活を送る上で大切なことを理解できた夏季学園となりました。夏季学園での経験をこれからの学校生活や家庭生活に生かしてくれることを期待しています。

先日、夏季学園で学んだことを4年生に発表しました。「夏季学園では、どのようなことをするのか。」「どんなことを学べたのか。」等、グループごとに話し合い、発表内容を考えていました。発表当日は4年生からたくさん質問を受けながら、夏季学園での経験を発表することができました。

Ⅱ期の仲間入りをして、約6か月が過ぎました。友達のことや下学年のこと、学校のことを考えるようになり、高学年としての自覚が強くなりました。今後も、引き続き子供たちを励まし、指導していきます。



（5学年担任 隈部康雄、鳴井史絵）

環境美化委員会（環境委員会）

環境美化委員会は、よりよい学校環境をつくることを目標にして活動をしています。

主な活動の一つはペットボトルキャップの回収です。各学級で集められたペットボトルのキャップを環境美化委員会で集約します。その後、港区リサイクル事業協同組合を通してリサイクル業者に買い取っていただき、その収益をユニセフ（国連児童基金）東京事務所へ寄付しています。

また、校内美化として、植物の世話や、モップシートの交換など清掃用具の整備、黒板消しクリーナーの手入れ、ロッカーの整理整頓の呼びかけなどを小学校と中学校で分担し合っています。東京ベイ・クリーンアップ大作戦が行われる際には、環境美化委員会の児童・生徒自らが参加するだけでなく、多くの児童・生徒へ参加の呼びかけを行い、地域の環境美化にも意識を高めていく活動も行っています。



今後も、一人ひとりが過ごしやすい学校になるよう、子供たちは活動を続けていきます。

（環境美化委員会担当 土田祥子、藤本未来、土屋伸吾）

【部活動の大会結果】

○柔道部 8年

第1ブロック中学校新人柔道大会
個人66kg級 第2位（都大会進出）



○バドミントン部

東京都中学校バドミントン新人大会 港区予選
ダブルス 第3位（ブロック大会進出）



【10月の主な行事】

- 2日 開校記念集会
- 4日 区連合体育大会（8年）
- 6日 英検
- 10日 音楽交歓会（中）
- 12日 健康アップ会議
- 13日 進路説明会
- 14日 港区総合防災訓練
港陽中学校 学校説明会
- 16日 生徒総会（中）
- 17日 区連合運動会（6年）
- 27日 学芸発表会児童生徒鑑賞日
- 28日 学芸発表会保護者鑑賞日
- 30日 振替休業日

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置の申し込みについて

本校では、小学生を対象に平成28年4月から、通級指導を行う特別支援教室を開室しています。「そよかぜ教室」と呼んでいます。

平成30年4月からは、中学生を対象に新たに特別支援教室を開室します。特別支援教室では、巡回指導教員が児童・生徒の在籍校を巡回し、コミュニケーションや生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行います。

学習支援員については、今まで通り配置を希望することができます。

学習支援員は、通常の学級の教室内で苦手な部分を補うために個別的に支援を行います。

平成30年4月から、特別支援教室への通級を新たに希望される方や学習支援員の配置を新規に希望される方は、11月17日（金）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に連絡してください。